

2026年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年5月8日

上場取引所 東

上場会社名 任天堂株式会社

コード番号 7974 URL <https://www.nintendo.com/jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古川 俊太郎

問合せ先責任者 (役職名) 経営統括本部長 (氏名) 三宅 浩二 (TEL) 075-662-9600

定時株主総会開催予定日 2026年6月26日 配当支払開始予定日 2026年6月29日

有価証券報告書提出予定日 2026年6月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・証券アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期の連結業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	2,313,051	98.6	360,117	27.5	542,196	45.6	424,056	52.1
2025年3月期	1,164,922	△30.3	282,553	△46.6	372,316	△45.3	278,806	△43.2

(注) 包括利益 2026年3月期 477,372百万円(52.1%) 2025年3月期 313,792百万円(△45.3%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2026年3月期	364.51	—	14.9	15.1	15.6
2025年3月期	239.47	—	10.5	11.4	24.3

(参考) 持分法投資損益 2026年3月期 82,792百万円 2025年3月期 35,125百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	3,805,312	2,955,180	77.6	2,562.41
2025年3月期	3,398,515	2,725,446	80.2	2,339.99

(参考) 自己資本 2026年3月期 2,954,024百万円 2025年3月期 2,724,327百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2026年3月期	289,789	△210,054	△249,714	1,316,680
2025年3月期	12,069	753,063	△195,126	1,414,121

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2025年3月期	—	35.00	—	85.00	120.00	139,709	50.1	5.2
2026年3月期	—	42.00	—	177.00	219.00	252,949	60.1	8.9
2027年3月期(予想)	—	—	—	—	162.00	—	60.2	—

※配当は、各期の利益水準を勘案し、中間と期末の年2回行うことを基本方針としています。なお、2027年3月期の連結業績予想を通期のみで作成しており、中間と期末の配当を分けて予想することができないため、年間配当金の合計のみを記載していますが、【添付資料】P.4「1.経営成績等の概況(3)利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当」に記載の方針に従い決定します。また、2027年3月期の期末配当金については、年間配当金から中間配当金を差し引いた金額となります。

3. 2027年3月期の連結業績予想(2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	2,050,000	△11.4	370,000	2.7	430,000	△20.7	310,000	△26.9	268.90

※注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2026年3月期	1,287,260,000株	2025年3月期	1,298,690,000株
2026年3月期	134,431,295株	2025年3月期	134,441,816株
2026年3月期	1,163,347,433株	2025年3月期	1,164,245,156株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数

(参考) 個別業績の概要

2026年3月期の個別業績(2025年4月1日～2026年3月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期	1,885,395	88.7	214,617	16.7	338,775	28.4	271,661	20.3
2025年3月期	999,009	△15.6	183,839	△52.3	263,763	△47.0	225,818	△35.9

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期	233.52	—
2025年3月期	193.96	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2026年3月期	2,362,693	1,798,022	76.1	1,559.66
2025年3月期	2,186,531	1,789,128	81.8	1,536.72

(参考) 自己資本 2026年3月期 1,798,022百万円 2025年3月期 1,789,128百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に含まれる将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、為替レートの変動や、その他市場環境の変化などの潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。現実の結果(実際の業績および配当金を含みますが、これらに限られません。)は様々な要因の変化により、これら見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご理解ください。なお、予想に関連する事項については、【添付資料】P.3「1. 経営成績等の概況(2) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当期の経営成績・財政状態の概況	P. 2
(2) 今後の見通し	P. 3
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	P. 4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	P. 4
3. 連結財務諸表及び主な注記	P. 5
(1) 連結貸借対照表	P. 5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	P. 7
(3) 連結株主資本等変動計算書	P. 9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 12
(連結貸借対照表関係)	P. 12
(連結キャッシュ・フロー計算書関係)	P. 12
(セグメント情報)	P. 12
(1株当たり情報)	P. 12
(重要な後発事象)	P. 12

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績・財政状態の概況

①当期の経営成績の概況

当期(2025年4月～2026年3月)は、6月に発売したNintendo Switch 2 が順調な立ち上がりを見せ、その後も全世界で販売を伸ばしました。期末にかけては、3月に発売した『ぼこ あ ポケモン』(※)がハードウェアの販売に貢献したことも加わり、通期の販売台数は1,986万台となりました。ソフトウェアについても、本体と同時に発売した『マリオカート ワールド』が本体セットの販売分を含め1,470万本となったほか、7月に発売した『ドンキーコング バナナザ』が452万本の販売を記録しました。また、10月に発売した『Pokémon LEGENDS Z-A Nintendo Switch 2 Edition』はパッケージ版のみで394万本の販売となりました。なお、本タイトルを含むNintendo Switch 2 Edition ソフトのダウンロード版の販売本数は、Nintendo Switchソフトウェアとして集計しています。これらの結果、Nintendo Switch 2 ソフトの販売本数は4,871万本となりました。

3月に発売から10年目を迎えたNintendo Switchも一定の需要が継続し、ハードウェアの販売台数は380万台となりました。ソフトウェアでは、『Pokémon LEGENDS Z-A』が885万本(『Pokémon LEGENDS Z-A Nintendo Switch 2 Edition』のダウンロード版を含む)の販売を記録したほか、10月に発売した『スーパーマリオギャラクシー 2』が276万本、『スーパーマリオギャラクシー』が260万本の販売となりました。

Nintendo Switch 2 では専用のソフトウェアに加えてNintendo Switchソフトも遊んでいただけることから、『マリオカート8 デラックス』や『Nintendo Switch Sports』など、前期以前に発売した定番タイトルも安定した販売となりました。また、『スーパー マリオパーティ ジャンボリー』や『あつまれ どうぶつの森』など、Nintendo Switch 2 Editionが発売された定番タイトルも安定した販売となっています。このような要因もあり、Nintendo Switchソフトの販売本数は1億3,691万本となりました。

ゲーム専用機におけるデジタルビジネスにおいては、パッケージ併売ダウンロードソフトの売上が増加したことなどにより、デジタル売上高は4,076億円(前年同期比25.0%増)となりました。

IP関連収入等については、主に映画関連の売上が減少したことにより、売上高は735億円(前年同期比9.7%減)となりました。

これらの状況により、売上高は2兆3,130億円(うち、海外売上高1兆7,781億円、海外売上高比率76.9%)、営業利益は3,601億円となりました。また、持分法による投資利益827億円、受取利息460億円および為替差益443億円を計上したことなどにより経常利益は5,421億円となりました。さらに、投資有価証券売却益326億円を特別利益として計上したため、親会社株主に帰属する当期純利益は4,240億円となりました。

※国内では株式会社ポケモンが、海外では当社が発売・販売するタイトルです。

②当期の財政状態の概況

総資産は前連結会計年度末に比べ4,067億円増加し、3兆8,053億円となりました。有価証券などが減少したものの、現金及び預金や受取手形及び売掛金などが増加したことが主な要因です。

負債は前連結会計年度末に比べ1,770億円増加し、8,501億円となりました。支払手形及び買掛金や未払法人税等などが増加したことが主な要因です。

純資産は前連結会計年度末に比べ2,297億円増加し、2兆9,551億円となりました。利益剰余金などが増加したことが主な要因です。

③当期のキャッシュ・フローの概況

当期における現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前期末から974億円減少（前年同期は5,606億円の増加）し、1兆3,166億円となりました。各キャッシュ・フローの増減状況とその要因は次のとおりです。

[営業活動によるキャッシュ・フロー]

営業活動による資金は、税金等調整前当期純利益5,681億円に対して、主に法人税等の支払いや持分法による投資損益の計上、売上債権の増加などの減少要因により、2,897億円の増加（前年同期は120億円の増加）となりました。

[投資活動によるキャッシュ・フロー]

投資活動による資金は、定期預金の預入による支出や有価証券及び投資有価証券の取得による支出が、定期預金の払戻による収入や有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入を上回ったことなどにより、2,100億円の減少（前年同期は7,530億円の増加）となりました。

[財務活動によるキャッシュ・フロー]

財務活動による資金は、主に配当金の支払いや自己株式の取得による支出により2,497億円の減少（前年同期は1,951億円の減少）となりました。

(2) 今後の見通し

2025年6月に発売したNintendo Switch 2 は、順調なスタートを切ることができました。今後もハードウェアの勢いを維持しつつ、ソフトウェアとともに幅広いお客様にお届けすることを目指します。Nintendo Switch 2 向けのソフトウェアでは、5月に『ヨッシーとフカシギの図鑑』、6月に『Star Fox』、7月に『スプラトゥーン レイダース』を発売する予定です。発売済みタイトル話題性を維持するとともに、これらの新規タイトルを継続的に投入することにより、Nintendo Switch 2 ビジネスの拡大に努めます。また、ソフトメーカー様からも多数のタイトルが発売される予定です。

Nintendo Switchについては、4月に『Pokémon Champions』を配信、『トモダチコレクション わくわく生活』を発売しました。また、7月に『リズム天国 ミラクルスターズ』を発売予定です。ハードウェアの普及基盤と豊富なソフトウェアラインアップを活かして、定番タイトルを含むソフトウェアの販売拡大、ならびに稼働の維持に努めます。

次期の業績については売上高2兆500億円、営業利益3,700億円、経常利益4,300億円、親会社株主に帰属する当期純利益3,100億円を見込んでいます。また、主要外貨の為替レート的前提は1USドル=150円、1ユーロ=175円としています。

計算の前提となる主要製品の予想販売数量については、当社HPで公表している「2026年3月期 決算説明資料」に記載しています。（<https://www.nintendo.co.jp/ir/events/index.html>）

※ 業績予想の適切な利用に関する説明

将来の見通しに関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき当社の経営者が判断した見通しであり、為替レートの変動や、その他市場環境の変化などの潜在的なリスクや不確実性を含んでいます。現実の結果（実際の業績および配当金を含みますが、これらに限りません。）は様々な要因の変化により、これら見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご理解ください。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、会社の成長に必要な研究開発や設備投資等を内部留保資金でまかなうことを原則とし、将来の経営環境の変化への対応や、厳しい競争に勝ち抜くため、財務面での健全性を維持しつつ、株主の皆様への直接的な利益還元については、各期の利益水準を勘案した配当により実施することを基本方針としています。

具体的な配当の算出については、連結営業利益の40%を配当金総額の基準とし、期末時点で保有する自己株式数を差し引いた発行済株式数で除した金額の1円未満を切り上げた金額か、もしくは連結配当性向60%を基準として1円未満を切り上げた金額の、いずれか高い方を、1株当たり年間配当金として決定します。

中間配当金については、中間期の連結営業利益の40%を中間期末の配当金総額の基準とし、その時点で保有する自己株式数を差し引いた発行済株式数で除した金額の1円未満を切り上げた金額を1株当たり配当金額とします。

当社は、昨今の当社グループの事業環境および財政状態を勘案し、株主の皆様への利益還元の姿勢をより明確にするため、当期の期末配当より配当方針を上記に変更しています。当期の中間配当は、変更前の配当方針に基づき中間期の連結営業利益の33%を中間期末の配当金総額の基準としています。

この結果、当期の配当は、1株当たり年間配当金219円（中間42円、期末177円）となり、次期の配当は、現時点で予想している業績となった場合、1株当たり年間配当金は162円となります。中間配当金は、中間期の業績予想を作成していませんので未定となります。

なお、内部留保した資金は、斬新で魅力ある製品を継続して提供するための必要資金として、また、新技術の研究や新企画の商品およびサービスの開発、生産体制の拡充および原材料の確保、広告宣伝を含めた販売力およびネットワークインフラの強化のほか、必要に応じた自己株式の買入れ等にも、有効に活用していきます。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、連結財務諸表の期間比較可能性を考慮し、当面は国際会計基準とのコンバージェンスが図られている日本基準で連結財務諸表を作成する方針です。なお、将来において国際会計基準を選択する可能性も鑑み、外部機関が主催するセミナーに参加するなど情報収集を行うとともに、様々な検討を進めています。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,586,275	1,791,802
受取手形及び売掛金	65,180	147,485
有価証券	471,915	425,054
棚卸資産	486,428	539,804
その他	142,603	105,690
貸倒引当金	△52	△52
流動資産合計	2,752,352	3,009,784
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	53,360	54,808
工具、器具及び備品（純額）	10,599	9,857
機械装置及び運搬具（純額）	1,807	2,126
土地	43,517	46,182
建設仮勘定	3,326	14,474
有形固定資産合計	112,612	127,450
無形固定資産		
ソフトウェア	11,393	11,103
その他	11,969	33,543
無形固定資産合計	23,362	44,647
投資その他の資産		
投資有価証券	369,373	420,875
退職給付に係る資産	13,117	18,769
繰延税金資産	80,929	121,899
その他	46,767	61,886
投資その他の資産合計	510,188	623,431
固定資産合計	646,162	795,528
資産合計	3,398,515	3,805,312

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	201,091	236,082
賞与引当金	4,485	5,062
未払法人税等	34,726	111,218
その他	357,342	407,783
流動負債合計	597,646	760,148
固定負債		
取締役報酬引当金	4	—
退職給付に係る負債	28,821	24,684
その他	46,596	65,299
固定負債合計	75,422	89,984
負債合計	673,068	850,132
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,065	10,065
資本剰余金	15,186	15,041
利益剰余金	2,732,509	2,979,910
自己株式	△271,015	△341,854
株主資本合計	2,486,746	2,663,163
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	67,469	53,422
為替換算調整勘定	170,112	237,438
その他の包括利益累計額合計	237,581	290,861
非支配株主持分	1,119	1,155
純資産合計	2,725,446	2,955,180
負債純資産合計	3,398,515	3,805,312

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
売上高	1,164,922	2,313,051
売上原価	454,754	1,404,094
売上総利益	710,168	908,956
販売費及び一般管理費	427,614	548,839
営業利益	282,553	360,117
営業外収益		
受取利息	56,176	46,062
持分法による投資利益	35,125	82,792
為替差益	—	44,339
その他	7,091	9,722
営業外収益合計	98,392	182,916
営業外費用		
支払利息	196	210
有価証券償還損	—	424
為替差損	7,913	—
その他	520	203
営業外費用合計	8,630	837
経常利益	372,316	542,196
特別利益		
固定資産売却益	6	16
投資有価証券売却益	72	32,664
特別利益合計	78	32,681
特別損失		
訴訟関連損失	—	6,414
固定資産処分損	63	268
特別損失合計	63	6,683
税金等調整前当期純利益	372,331	568,194
法人税、住民税及び事業税	84,403	176,290
法人税等調整額	9,075	△32,188
法人税等合計	93,478	144,101
当期純利益	278,852	424,092
非支配株主に帰属する当期純利益	46	36
親会社株主に帰属する当期純利益	278,806	424,056

連結包括利益計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
当期純利益	278,852	424,092
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	37,292	△14,716
為替換算調整勘定	△10,534	65,381
持分法適用会社に対する持分相当額	8,182	2,615
その他の包括利益合計	34,939	53,279
包括利益	313,792	477,372
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	313,746	477,335
非支配株主に係る包括利益	46	36

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,065	15,120	2,646,967	△271,033	2,401,119
当期変動額					
剰余金の配当			△193,263		△193,263
親会社株主に帰属する 当期純利益			278,806		278,806
自己株式の取得				△2	△2
自己株式の処分		66		20	86
自己株式の消却					—
利益剰余金から資本剰 余金への振替					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	66	85,542	17	85,626
当期末残高	10,065	15,186	2,732,509	△271,015	2,486,746

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	30,415	172,226	202,642	1,237	2,604,998
当期変動額					
剰余金の配当					△193,263
親会社株主に帰属する 当期純利益					278,806
自己株式の取得					△2
自己株式の処分					86
自己株式の消却					—
利益剰余金から資本剰 余金への振替					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	37,053	△2,114	34,939	△118	34,821
当期変動額合計	37,053	△2,114	34,939	△118	120,448
当期末残高	67,469	170,112	237,581	1,119	2,725,446

当連結会計年度(自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)

(単位：百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	10,065	15,186	2,732,509	△271,015	2,486,746
当期変動額					
剰余金の配当			△147,859		△147,859
親会社株主に帰属する 当期純利益			424,056		424,056
自己株式の取得				△99,927	△99,927
自己株式の処分		126		22	148
自己株式の消却		△29,066		29,066	—
利益剰余金から資本剰 余金への振替		28,795	△28,795		—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	△144	247,400	△70,839	176,417
当期末残高	10,065	15,041	2,979,910	△341,854	2,663,163

	その他の包括利益累計額			非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券 評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計		
当期首残高	67,469	170,112	237,581	1,119	2,725,446
当期変動額					
剰余金の配当					△147,859
親会社株主に帰属する 当期純利益					424,056
自己株式の取得					△99,927
自己株式の処分					148
自己株式の消却					—
利益剰余金から資本剰 余金への振替					—
株主資本以外の項目の 当期変動額(純額)	△14,046	67,326	53,279	36	53,316
当期変動額合計	△14,046	67,326	53,279	36	229,733
当期末残高	53,422	237,438	290,861	1,155	2,955,180

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	372,331	568,194
減価償却費	15,361	15,854
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△28	△105
受取利息及び受取配当金	△57,626	△53,145
為替差損益 (△は益)	5,089	△61,888
持分法による投資損益 (△は益)	△35,125	△82,792
売上債権の増減額 (△は増加)	27,876	△74,786
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△333,837	△27,591
仕入債務の増減額 (△は減少)	57,564	79,700
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	5,149	△5,326
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△289	△6,659
その他	43,336	△8,523
小計	99,802	342,928
利息及び配当金の受取額	60,644	52,485
利息の支払額	△193	△174
法人税等の支払額	△148,184	△105,449
営業活動によるキャッシュ・フロー	12,069	289,789
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	△1,118,834	△256,228
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	1,555,399	415,599
有形及び無形固定資産の取得による支出	△19,008	△27,169
有形及び無形固定資産の売却による収入	16	67
定期預金の預入による支出	△1,787,231	△1,841,546
定期預金の払戻による収入	2,126,880	1,497,216
その他	△4,157	2,006
投資活動によるキャッシュ・フロー	753,063	△210,054
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△2	△99,935
配当金の支払額	△193,191	△147,858
その他	△1,931	△1,920
財務活動によるキャッシュ・フロー	△195,126	△249,714
現金及び現金同等物に係る換算差額	△9,317	72,538
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	560,689	△97,441
現金及び現金同等物の期首残高	853,432	1,414,121
現金及び現金同等物の期末残高	1,414,121	1,316,680

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(連結貸借対照表関係)

有形固定資産の減価償却累計額は、次のとおりです。

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当連結会計年度 (2026年3月31日)
減価償却累計額	97,327百万円	108,369百万円

(連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の期末残高と連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりです。

	前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
現金及び預金勘定	1,586,275百万円	1,791,802百万円
預入期間が3か月を超える 定期預金	△410,356百万円	△775,400百万円
取得日から3か月以内に 償還期限の到来する短期投資	238,202百万円	300,278百万円
現金及び現金同等物	1,414,121百万円	1,316,680百万円

(セグメント情報)

当社グループ(当社及び連結子会社)は単一セグメントのため、記載を省略しています。

(1株当たり情報)

		前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
1株当たり純資産額	(円)	2,339.99	2,562.41
1株当たり当期純利益	(円)	239.47	364.51

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、次のとおりです。

		前連結会計年度 (自 2024年4月1日 至 2025年3月31日)	当連結会計年度 (自 2025年4月1日 至 2026年3月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	278,806	424,056
普通株主に帰属しない金額	(百万円)	—	—
普通株式に係る 親会社株主に帰属する当期純利益	(百万円)	278,806	424,056
普通株式の期中平均株式数	(千株)	1,164,245	1,163,347

(重要な後発事象)

該当事項はありません。